

読み聞かせボランティア

平成 29 年 7 月 岐阜県立山県高等学校

1 目的

- (1) 園児に、絵本や童話を読み聞かせる活動を通して、語る力を養い、今後の図書委員の活動に役立てる。
- (2) 地域のボランティア活動の実施を通して、社会的意識の向上を図る。

2 日時

7月18日(火) 15:10~15:40(30分)

3 場所

みやま保育園

住 所 山県市岩佐 2 1 3 - 1

TEL 0 5 8 1 - 5 2 - 1 1 1 4

4 内容

平成 22 年からみやま保育園で読み聞かせボランティアを実施しています。

前期期末考査終了後から放課後、図書館で、紙芝居や絵本の語りを練習してきました。題材はグループごとに園児の年齢に適した絵本や紙芝居を選択しました。

今回は紙芝居 2 作「ちゃんぷくおぼけ」、「とっしん とっしん とっしん！」と童話「だるまちゃんとかみなりちゃん」、「そらまめくんのぼくのいちにち」の 2 話です。

ページのめくり方や話し方、その速さ、効果音の出し方などそれぞれが気が付いたところを互いに注意しながら練習して本番に臨みました。

本話を聞いてくれた園児は、5 歳児(年中) 13 人、4 歳児(年少) 11 人の計 24 人でした。

反省会では、「“見たことある！知ってる 知ってる！”といった園児の元気な反応がうれしかった。」「今までで一番大きな声が出せた。」「練習は恥ずかしかったけど、やり終えた満足感がある。」などの意見が出ました。

純真無垢な園児たちに触れ、日頃の自分の姿勢を振り返る良い機会になったようです。図書委員長のは、「練習では不安もあったけど、本番ではみんなが園児に向かって自信たっぷりに話すので安心しました。」と話していました。

